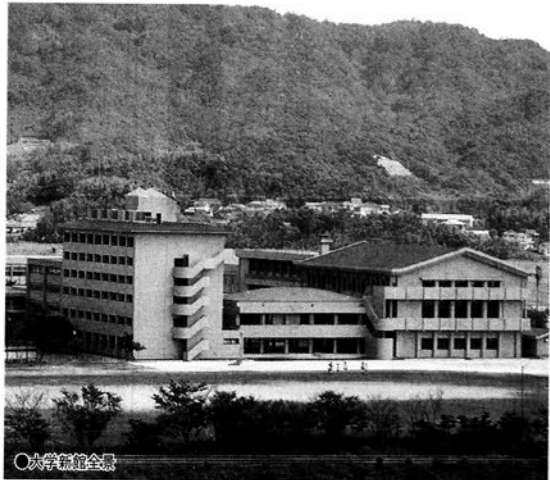


# 10/7(水) 新しい風が吹いた日。

## 大学新館落成式典 華僑大学との友好交流協定調印式典



○大学新館会館

学名変更、学部増設、大学院新設等、何かと話題を醸しだしている我が長崎県立大学に、十月七日又、新しい風が吹いた。  
本学新館の落成及び中国福建省・華僑大学との友好交流協定調印で

### 新たな第一歩が始まった。

#### 大学新館落成

式典は約三百名の出席のもと、鈴木学長をはじめ来賓の方々、前田鵬友会会長達によるテープカットから始まった。  
テープに鉄が入れると、大きな拍手と共に新しい時代の幕開けである。  
この後、従来の二倍は収容できるという、新館三階の大講義室に移動し、多くの来賓の方々を代表して宮内県議会議長の祝辞、落成に至る過程の報告等、今後の期待感溢れるものとなった。  
又、新館二階ロビーには昨年鵬友会から寄贈された高崎英画伯の80号の大作が飾られてあり、一層新館を引き立たせていた。

#### 新館概要

##### ■講義棟

地上四階  
建築面積九四四㎡  
延床面積二、五九〇、四二㎡

##### ●二階

AV教室、中教室、AV自習室、大教室

Vol. 5

長崎県立大学鵬友会会報  
**おとり**

#### 発行

長崎県立大学鵬友会  
佐世保市川下町一三三(大学内)  
☎〇九五六一四七一五一四六



●テープカット

# こんなに変わった!! 相浦地区。 あの下宿は今………?



思い出の場所あれこれ…



\*次回会報には日野峠から松浦地区をレポートの予定。

### 同窓会は終身会費で運営されています。

本学も昨年で25周年を迎え、全国各地において活躍している声が届いております。  
同窓会本部としても嬉しいかぎりです。今後も名簿の充実、全国各地の支部活動の支援、更には30周年記念式典へ向けての活動など、いろんな事をやらなくてはなりません。現役学生からは、入学時に全員、終身会費(一、二、〇〇〇円)を頂いておりますが、卒業生の皆様からの納入状況は約10%となっております。今後の本学の発展を願うには余りにも淋しい数字です。まだ未納の卒業生の皆様、ご理解の上同窓会費納入にご協力下さいませ。お願い申し上げます。  
鵬友会本部

### 住所変更は連絡を!!

昨年5月同窓会名簿第2刊を発行致しましたが、未だ住所の確認が取れない卒業生、変更があるにもかかわらず新住所等の連絡が事務局へ伝わらず卒業生が多数おられる様です。自分の名簿であるだけでなく、友人にとっての名簿でもあります。  
変更の際は必ず、各支部長又は大学事務局へご連絡下さい。  
●長崎県立大学鵬友会事務局  
☎0956・47・5146

**お願い!!**  
卒業生の皆さん各支部からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが同窓会心援しているのです。

### ◆編集後記◆

古い友人が近県へ転動してきた。ゴルフを一緒にする。  
卒業以来、一回しか逢っていないが「久しぶり!」の言葉で止まっていた時間が戻る。  
何の違和感も、気負いもない。正に、学生時代そのものである。  
今年のU先輩からの年賀状に心洗われるものがあつた。  
「もうひとひき もうひとひき これをこえなければ ぼくは自分を生かせない。」(中略)  
と書かれた文面からは、人柄が見え、大切なことを又一つ教えていただいた気がしている。  
この意味を我がの子供達へ教えると共に今、テレビの横に置き、自分にあてはめて毎日読んでいる。  
世の中、バブル崩壊だの、佐川疑惑がどうだの、雅子さんが皇太子妃だの、りえが別れただの、イラク爆撃だの、自分に直接、間接的であれ、色々なことが起こっている。何が真実なのか、何が虚構なのかしつかりと見つめる眼を持たねばならないと思う。  
我が県立大学も新しい出発の年。全国で飛翔たいているおとり達が力を合わせて、更に大学の発展を盛り上げん事を期待してまいります。  
(浜辺)

### 厳粛におごそかに調印の式典

#### 長崎県立大学・華僑大学友好交流協定調印式

落成式に続いて、学生総会の折、鈴木学長が言っておられた、かねてからの構想である中国福建省・華僑大学との友好交流協定の調印式が行なわれ、本学からは、鈴木学長、県議会議長、佐世保市長、市議会議員等の方々、一方華僑大学からは陳華僑大学長、丘文教司責任者、蔡副教授、呉教育人材育成センター主任、何社会科学部部長の五名の方々が調印団として出席された。  
プラスチック部による日本・中国両国の国歌吹奏を始めとして、両国調印団紹介、そして友好交流協定書への署名・交換が行なわれ、両大学学長による同時通訳を介しての挨拶では、鈴木学長が「學術交流を通じて、両校の相互理解と友好関係を築いて行きたい」と述べ、陳学長は「今回の調印は、国際交流の最大の収穫です」と語り、かたい握手を交わした。



○友好交流協定調印式

その後、友好の証として記念品の交換が行なわれ絆を深いものとし、更に、各方面からの祝辞・祝電の後とどこおりなく閉式となった。大学の在り方がいろいろと問われている今日、我が大学の新しい国際化への第一歩が、ここから始まるのだと思われる。

# 全国各地で「おとり」達が翔んでいます。〔各支部活動状況〕

So~o~いあいさつSo~o~

鵬友会会長 前田 敬一

全国四〇〇有余名の鵬友会会員の皆様におきましては益々活躍のことと思っております。

皇室の慶事で幕を明けた今年は、我々会員にとっても、昨年の新学舎落成に引き続き、大学院の新設という大変喜ばしいことが待つ年でもあります。

一昨年は校名変更が始まり流通学科の新設、昨年の新学舎落成並びに華僑大学との交流協定締結、そして今年の大学院の新設と、母校はめざましい変革発展を遂げています。このような時を我々同窓会会員は決して見逃すことなく、強力な後押しをしていかなければならないと考えます。

現在の大学乱立の時代にあつて、個性と有理性のある大学のみが、後世に残されるのであり、そのような大学になるよう協力することを我々は期待されているのだと思つています。

母校に対するノスタルジックな感傷でなく、進歩発展は大学にとつても不可欠であるということを確認し行動する同窓会活動を目指さなければならぬと思つています。皆様の、ご健勝をお祈りしてペン置かせていただきます。



○おとり会報編集委員会

## 長崎支部 鵬友会連絡所の看板設置で輪を拡げる。

見ず知らずでも、県立大学の卒業生とわかっただけで、何となく親しみを感ずしてしまふ。その素朴な気持ち、同窓会の原点ではないか。初めは同期のヨコのつながりから少しづつ先輩、後輩のタテのつながりへ、網の目のように拡がっていきば最高だ。実際は仲間どううまくはいかないが、無理をしても永続しない気もする。我が長崎支部も、年一回の総会、忘年会、新年会などの活動をしてきている。いつも話題になるのは、若い方の参加が少ないこと。そこで、同窓会のちよつとした情報、連絡の場をということで、「鵬友会連絡所仮称」というやさやかな看板プレートを張り出すことで計画を進めている。場所は、長崎県中央橋近くの食事の店「あじの竹の家」店頭である。同店は、四十五年度卒、松本健良さんが店主ということで、本健良さんが店主ということで、会員がよく出入りしており、その輪をもっと広げようと、松本さんに協力してもらつたことになったのだ。一人でも多くの会員が、プレートを見て、ちよつと、寄つて

て同窓会の話題などたずねてほしいと願つている。鈴木学長のご就任以来、大学の動きには目を見張るものがうかがえる。我々卒業生も、何かのお役に立つて、大学の発展を記念するものである。

## 福岡支部

●支部長 古川信利(46年度卒)  
☎0958-2516477 (自宅)

福岡支部活動状況をお知らせいたします。平成四年十二月五日(土)長崎国際ゴルフクラブにおいて親睦ゴルフを開催。午前七時三十分スタートということ少しく肌寒さは感じたものの、毎回参加していただいている、前事務局長の浜田長崎県営バス社長、岡崎教授を交えて総勢十三名が日頃より鍛えた腕前を存分に発揮し、右に左に楽しい一日を過ごしました。コンペ修了後の表彰式を兼ねたパーティ(名ばかりの)では、神原先輩にお願ひし景品は大変豪華で全員満足し



●盛んだった親睦会

## 関東支部

●支部長 浜辺千昭(46年度卒)  
☎092-52413166 (会社)

本年の活動予定としては、六月下旬には支部総会及び親睦会の開催を計画、秋頃には親睦ゴルフをと考えておりますので詳細は追つてご連絡いたします。

## 鵬友会と野球部

野球部OB会は昭和五十年発足しました。当時は、まだ会員も少なくやりくりが苦しい記憶が残っています。従つて、現役に対する援助は充分でなかつたものの、そういう中で選手達は良く練習し期待を抱かせる年もありました。しかし、運悪く二・三回戦で強豪チームと対戦し涙を飲んだことが幾度となくありました。近年はチーム力が充実し、一昨年には準硬式野球九州選手権優勝で昭和四十五年以来二回目の全国大会出場という偉業を果たしました。その報に接したときは、OBとして驚き嬉しく感じたものの遠征費をどうやって賄うか大変心配したものです。それを解決してくれたのが鵬友会です。時あたかも、学校の学科増設、学名変更となつたときでいかにして母校をアピールできるか議論を重ねている最中でした。全国大会出場は当校のように小世帯の学校では願つてもないことで好機会でした。鵬友会では即座に多額の援助を決定し、我々のOB会資金、後援会の援助と合わせ無事全国大会へ出場、選手諸君も非常に感謝しました。惜しくも初戦で敗退したものの選手達は鵬友会の意義を充分感じ取りました。



また昨年はインカレで初優勝という夢のような快挙も成し遂げました。二年連続のこの快挙は、九州の主要校にとつて長崎県立大学を特別に位置づける目標校になつていると聞いています。野球部OB会では、これらを記念してバッテリーマシンを寄贈する計画を進めています。しかしこれには多額の資金が必要ですがこれにも鵬友会は不足分の援助を約束してくれ、お陰で今春には永年の懸案事項を達成できそうです。選手諸君も努力していい結果を残せば充分報われることを痛感したことでしょう。鵬友会会員の皆様には仕事の傍らの活動は大変なことだと思つています。同窓生、学生のため今後益々の活躍を願つた次第であります。昭和四十五年卒 湯口 隆幸

## 佐賀支部 ゴールドプランは大丈夫か!

●支部長 徳丸正雄(47年度卒)  
☎045-97212392 (自宅)

否応なしに日々は過ぎ行く。今年も早や弥生。梅咲き、こぶし芽ぶき、やがて桜満開宣言。その頃になるともう数十回目かの母校「長崎県立大学」の入学・卒業式が挙行される。そのことは間違いなく我等同窓を育て、輩出するという喜ばしいセレモニーでもある。そのことの積み重ねで、いまや四十路半ばかりピカピカの二十歳

今後は日五年の支部総会(日程も六月最終土曜(6/26)と決定しており、又秋のレク活も定着させ会員相互の連携を密にしていきたいと思います。又在学生の女性増支部活動に女性会員が参加し易い様、次回は女性の役員を誕生させようと考えております。

## 提案

住所のクリーニングをし続ける為統一の住所変更届用紙を作成し、会報と同封したり、同窓会名簿に添付し、機会ある事にその情報を収集して頂きたい。

最後に皆様、住所変更の時は本部(佐世保)へ一報下さい。

●支部長 徳丸正雄(47年度卒)  
☎045-97212392 (自宅)